

# 川上ダム通信

2017  
2  
月号



Vol. 137  
Since 2005

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所  
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。  
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索  
ご意見・ご感想はこちらへ <mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp>

## 安全・安心をみんなの力で！ ～現場安全点検の取り組み～

川上ダム建設所では、事業による労働災害を防止し、工事や業務を円滑に推進するため、「川上ダム建設所安全協議会」を設け、安全管理対策の推進、安全教育及び訓練の実施などを行っています。この協議会では、毎月1回、当建設所が発注している工事や業務受注者も一緒となって工事現場の安全パトロールに取り組み、ここ数年は大きな事故もなく安全に事業を進めてまいりました。

いま供用開始に向けて工事を進めている付替県道青山美杉線だけではなく、ダム本体工事に向けた準備工事や貯水池斜面の対策など工事が増え、高い所や急斜面での作業が多くなってきました。そのため、月1回の安全パトロールを補完すること、また、対外的にも注目されて見学者も増える傾向にあり、常に変わっていく現場を把握し、事業の状況を発信できるようになることを目的として、普段工事現場にいく機会の少ない事務系職員も含む全職員を対象として「現場安全点検」の取り組みを始めました。

全職員が常に変わっていく現場を知り、安全な工事実施に努めるとともに、地域のみなさまに安心していただけるよう、川上ダムの最新の（新鮮な）情報を発信してまいります。 【工務課 小谷口雅義】



### 1月の現場安全点検



現場代理人から説明を受ける職員



安全確認のポイントは？

1月11日（火）、職員5人で現場安全点検を行いました。ここしばらく工事現場に行く機会がなかったので、工事がずいぶん進んだな、というのが第一印象でした。今回点検の対象とした工事は、盛土を中心とした工事でした。土の採取とダンプトラックへの積込や、ダンプトラックによる土の運搬などの状況を確認しました。参加した職員からは、より安全に作業を進める観点から、ダンプトラックの通行路の明示をもう少し分かり易くした方がよい旨の意見がありました。水機構に入社当時、「安全は全てに優先する」という標語を覚えさせられた記憶がありますが、今回の点検により、改めて、その標語を強く認識することができた良い機会となりました。

【環境課 廣瀬真由】

# ユネスコ無形文化遺産登録！ 「上野天神祭のダンジリ行事」

エチオピアで開催されたユネスコ政府間委員会にて、国指定重要無形民俗文化財「上野天神祭のダンジリ行事」を含む33件の「山・鉾・屋台行事」が「ユネスコ無形文化遺産」に登録されることが昨年11月（現地時間）に決定しました。

400年余の歴史を誇る上野天神祭は、毎年10月23日、24日、25日に行われています。本祭の日には、荘厳な神輿の巡幸に続き、百数十体の鬼が町を練り歩き、お囃子とともに豪華絢爛な9基のダンジリ（楼車）が続きます。神輿巡幸に関わる組織、印と楼車を出す楼車町、鬼行列を出す鬼町があり、それぞれ役割を継承しています。鬼行列では、悪鬼、役行者、ひよろつき鬼やかわいい小鬼達などが歩きます。鬼行列の面は桃山時代のももあり、観世流の能の発祥地である伊賀ならではの文化的遺産でもあります。楼車は上野城下の町衆が力をつけた江戸中期以降に、その内容と規模を発展させました。楼車町と呼ば



上野天神祭（伊賀上野観光協会 HP より）

れる町々が町ごとに1基所有し、梅雨明けの土用干しやお祭前の飾り付け、お囃子の練習など、町をあげての文化が幾世紀を経て大切に継承されています。きらびやかな装飾幕や飾金具は当時の芸術性の高さが伺えます。 【総務課 谷村正子】



鬼行列の様子や楼車の一部が「だんじり会館」（伊賀市上野丸之内）で展示されています。（問合せ0595-24-4400）

## 大正生まれの「阿保発電所」

川上川と前深瀬川の合流地点にたたずむ「阿保発電所」。この発電所は、旧上野市の「巖倉発電所」、名張市の「青蓮寺川発電所」、「比奈知発電所」に次ぎ、伊賀地域で4番目に建設された水力発電所です。建設したのは津電灯株式会社で、大正11年1月26日に完成し、運転を開始しました。完成当時は「川上発電所」と呼ばれ、川上の集落を始め、旧青山町全域はもちろん津方面へも送電を行っていたそうです。

この発電所は、伊賀市種生で川上川から取水した水を発電所上部の水槽まで約2km導水し、そこから水圧鉄管を通して落差約80mを一気に落下させ、木造建物の中の水車、発電機を回転させて発電していました。

運転開始から約95年間、地域の経済の発展と生活の向上に貢献してきた「阿保発電所」は、川上ダム建設事業の進捗にあわせ、昨年長年の役割を終えました。 【第一用地課 高橋宏行】



現在の発電所とその周辺



阿保発電所



# 自分を知って安全運転

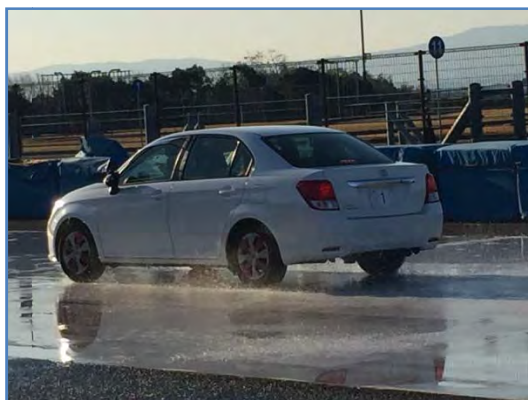


当建設所では、交通事故の防止と交通安全への意識向上を図るため、交通安全講習会を毎年実施しています。今年度も、12月に三重県交通安全研修センター（津市）にて実施しました。

屋内講習では、運転シミュレータを操作して日頃の運転で事故の原因となる箇所の確認をするとともに、自分の運転技能の診断を受けることが出来ました。また、平成27年にリニューアルオープンした「体験学習ゾーン」では「運転・歩行能力診断」、「動体視力」の体験を行いました。どちらの体験も善し悪しを計るものではなく、自分の能力を確認して分析することが大切だと感じました。



真剣に運転シミュレータを体験する参加者



濡れた路面での急ブレーキ体験

屋外講習では教習車を使い、普段はあまり体験することのないABSを切った状態での急ブレーキ体験や乾いた路面と濡れた路面での制動距離の違いを体験することが出来ました。知識では分かっても実際に体験してみると、こんなに違うのかと驚きました。

日頃から通勤や業務で、運転する自分の車が一步間違えば取り返しのつかない結果を招くかもしれないということを肝に銘じ、職員一人ひとりが交通安全の徹底を図ってまいります。

【第二用地課 高橋重樹】

## 土木工事現場でのICT技術の活用



ICTは「Information and Communication Technology（インフォメーション アンド コミュニケーション テクノロジー）」の略語で「情報通信技術」と訳されています。近年このICTは土木工事の現場においても積極的に取り入れられており、生産性の向上や労働災害の防止に加え、将来予想されている労働力不足の解消を目的として取り組んでいるものです。

ICTの活用事例としては、ドローン（無人航空機）等を用いての写真測量や、建設機械の遠隔操作等があります。



カメラを搭載したドローン



当建設所での撮影の様子

当建設所では、水機構のICT活用工事の第1号として、道路工事の際に工事場所の地形を把握するために、ドローンを用いております。従来測量作業員が行っていた測量作業を、ドローンによる写真測量に変えることで、短時間かつ効果的に測量を実施できることが期待されています。

これから土木業界でもICTが積極的に活用されていくことが予想されます。当建設所でも個々の技術力の向上に励みつつ、ICTの導入を行い、的確かつ安全に工事を進めていきたいと考えています。

【調査設計課 山本晃世】

# 〜くみひもづくり体験〜

くみひもは、奈良時代に大陸から伝わったものとされ、古くは仏具や神具、武士の甲冑などの紐として使われ、現在では着物の帯紐、羽織紐など和装の必需品として、また、ネクタイやアクセサリーなど様々なアイテムがあります。伊賀くみひもは、高台（たかだい）という組台を使った高級手組ひもが有名で伊賀の伝統的工芸品として指定されています。

そのくみひもづくりを体験できる場所があるということで、三重県組紐協同組合が運営している伊賀くみひもセンター「組匠の里（くみのさと）」（伊賀市四十九町）にお邪魔して、くみひもづくりを体験してきました。



丸台（まるだい）を使って体験

センターに到着すると、昨年公開された人気アニメ映画の影響のようで、午前中にもかかわらず多くの方が体験に訪れており、少し待ってから体験を始めました。体験では、丸台（まるだい）という台を使って行いました。台には糸がセットされており、好みの色の糸を選び、講師の方の説明のあと早速体験を始めました。最初は難しいのではと思っていましたが、やってみるととても簡単で小学生でも迷うことなくできました。20分ほどで組み上がり、講師の方にキーホルダー（ブレスレット、ストラップも選べます）に加工してもらって体験を終了しました。一緒に体験した子供たちも楽しかったようで、できあがったキーホルダーを手に喜んでいました。伝統的な伊賀のくみひもを気軽に楽しめ、貴重な体験ができました。みなさんも自分だけのくみひもを作ってはいかがでしょうか？



出来上がった  
キーホルダー

なお、今回訪れたセンターは2月末を以て、移転のため閉館するそうです。移転先、時期等については未定で、決定次第ホームページなどでお知らせするとのことです。ご来館になる時はご注意下さい。【第一用地課 富士澤誠】

## 本誌に対するご意見と掲載記事を募集します♪

当建設所では、読者の皆様により一層楽しみながら川上ダム通信をお読み頂けるよう、本誌に対するご意見や掲載記事を募集しています。詳細については、下記までお問い合わせくださいますようお願いいたします。

【問い合わせ先】 総務課 TEL 0595-52-1661 Mail [somu1@lily.ocn.ne.jp](mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp)

※掲載記事については、広告など営利目的のものはお受けいたしかねますのでご了承ください。

## イベントのお知らせ

### 伊賀上野・城下町のおひなさん

開催日：2月18日（土）～3月3日（金）

開催場所：伊賀市上野本町通り周辺

主催：伊賀上野・城下町のおひなさん実行委員会

お問い合わせ：0595-22-9670

伊賀市 観光戦略課（平日のみ）

### 正月堂修正会

開催日：2月11日（土）、12（日）

開催場所：観菩提寺正月堂（伊賀市島ヶ原）

## 編集後記

本格的な冬が来ました。同時に受験シーズン到来です。インフルエンザも増えるこの時期、受験生は勉強だけでなく、健康管理も気をつけなくてはなりません。うがい、手洗いの徹底と不要不急の人混みへの外出は極力避け、こたつで暖かくして寒い冬、受験の冬を乗り切ろう！そして、春には満開の「桜」が咲くのをみんなで見よう！！（受験生の父）



### 【広報誌発行事務局】

編集長 加納（所長）

デスク 大西（総務課長）

記者 谷村（総務課）

八重樫（第二用地課）

清水（環境課）

小谷口（工務課長）

富士澤（第一用地課）

山本（調査設計課）

小野（工務課）